

01 | 市が抱える現状

現状① | 人口減少と人口移動

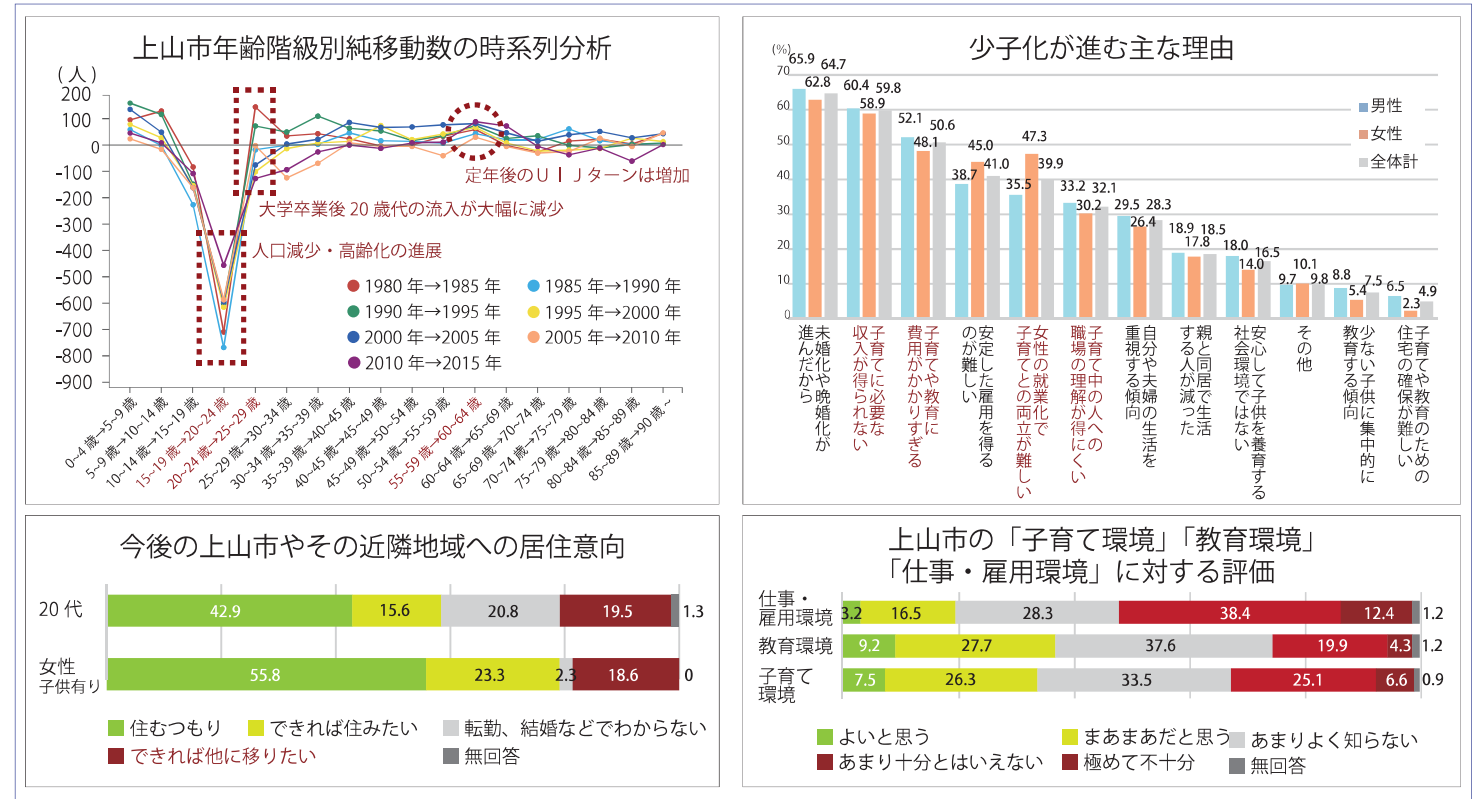
他の地方都市と同様に 2005 年をピークに減少に転じ、高齢化が進展している。人口コーホートの推移では、高校卒業のタイミングで大幅に流出し、大学卒業・就職のタイミングでは、2000 年前後から流入が流出に転じており、若い世代の大幅な減少・高齢化率の増加が顕著である。⇒ **若い世代の回帰を促す策が必要**

現状② | 若者や子育て世代の居留意向の低下

「できればほかの都市に転居したい」と考えている若い世代や子育て中の女性の割合が多く、このままではますます少子化・高齢化が進んでいくことが懸念される。⇒ **子育て世代をターゲットに移住促進策を強化する必要がある**

現状③ | 子育て世代の仕事・雇用や、子育てしやすい環境に対する満足度の低さ

子育てに必要な収入を得るための仕事や、子育てと仕事を両立させるための環境が不足していることが、子育て世代が減少している要因となっていると考えられる。⇒ **子育てと仕事を無理なく両立しながら収入を得られる環境が求められている**

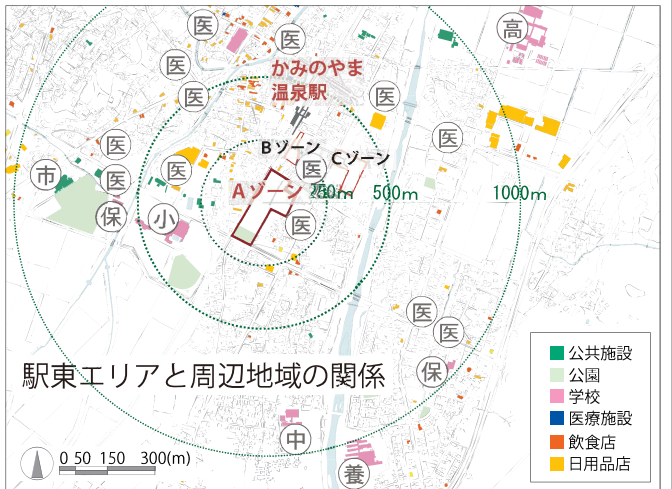


激減している子育て世代をはじめ、若い世代の移住・定住促進による世代間バランスの向上が求められる。

02 | 駅東エリアのポテンシャル

- ① 市の玄関口である「かみのやま温泉駅」に近接の好立地
- ② 徒歩圏内（約 1km の範囲）に保育園・小学校・中学校が立地
- ③ 徒歩圏内に病院（クリニック）・市役所・商業施設等が立地
- ④ 蔵王連峰や三吉山、須川川をはじめとする四季折々の美しい景観など、自然の環境に恵まれている

子育て世代が暮らしやすい最適な環境や条件は整っている。



03 | 基本構想の考え方



04 | 駅東エリア（A 住宅ゾーン）の公共空間を考える市民ワークショップの開催

■ エリアの魅力と価値を生み出し、市民に親しまれる公共空間（公園・緑道）のあり方を考える市民ワークショップ「パークデザインミーティング」（全 4 回）

上山市駅東エリア 公園ワークショップ

第1回キックオフ パークデザインミーティング

11月27日 日 13時30分キックオフ

会場 | かみのやま温泉駅2F アビヤント・K

市民ワークショップ等を通じて様々な方々からいただいた意見をもとに、令和 4 年 6 月に策定した「駅東エリア整備基本構想」をもとに、駅東エリアに、子どもから高齢者まで、様々な世代の人が集い、思い、「ひと」「もの」「こと」のつながりを生みだしながら魅力を高めていく公園をつくっていくためのワークショップを実施します。

私たちは、近年進展する少子化・高齢化に加えて、新型コロナウイルス感染症、台風や豪雨による災害など、かつてない状況に直面している一方で、公園をはじめとする公共空間を楽しく上手に使いながら、まちの魅力を高めている例もあります。

ワークショップでは、皆さんの活動やアイデアから、新たに生まれる公園が多くの人々に愛され、かみのやまならではの豊かな暮らしの風景を生み出し続ける公園にしていきたいための整備方針を考えていきます。ぜひ、ご参加ください。

第1回 駅東エリアパークデザインミーティング キックオフトーク

公共空間のあり方・使い方が変われば、ひょっとしたらまちは変わるんじゃないかと思っている今日この頃のお話！

西村 浩 | 株式会社ワークヴィジョンズ

公共空間のデザインから建築やリノベーション、そしてベール専門店の経営まで、あの手この手で「まち」と「そこで暮らす人々」の豊かで楽しい日常づくりを目指して全国各地で活動しています。一緒に駅東エリアの未来像と魅力的な公園のイメージを描きましょう。

※お申込み方法について

随時受付します。詳細は 都市整備係 にお電話（平日 9 時 30 分～17 時 15 分）またはメールでお名前・連絡先をお知らせの上お申込みいただくか、右の QR コードから参加登録をお願いします。

お問合せ | 上山市 建設課 都市整備係 Tel : 023-672-1111（内線 424・430） mail : kensetsu@city.kaminoyama.yamagata.jp

- 第1回 | 2022 年 11 月 27 日（日） 参加者 35 名
- キックオフ勉強会「暮らしを楽しみながら未来を育む公園」
- ◎ 公園・緑道の整備に向けての機運醸成
  - ◎ 魅力的な公園のあり方・つくり方（官民連携の重要性とポイント）
- 第2回 | 2023 年 1 月 11 日（水） 参加者 46 名
- 「駅東エリアと公園・緑道の将来像をイメージしよう」
- ◎ イメージフォトアンケート
  - ◎ 理想の公園＋緑道のゾーニング（配置）を考える
- 第3回 | 2023 年 2 月 7 日（火） 参加者 46 名
- 「暮らしと活動から考える公園ー「わたし」と「公園」ー」
- ◎ 豊かな公園の日常をつくるためにできること、やりたいこと
  - ◎ 実現に向けて必要な「もの」「こと」「ひと」
- 第4回 | 2023 年 2 月 23 日（木/祝） 参加者 34 名
- 「つくる・つかう・育む公共空間」
- ◎ 社会実験からはじめる公園づくり（イベントと社会実験の違い）
  - ◎ 社会実験のプログラムをを考える



05 | A ゾーンのゾーニングの検討（市民ワークショップでの意見）

|                 | A 案   基本構想案                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | B 案   基本設計検討案                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ゾーニングの考え方       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| ワークショップにおける主な意見 | <p>◎ 良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緑道と線路が近くて新幹線がよく見える。<br/>⇒ 新幹線とかけっこができそう。</li> <li>住宅に気を使わずに活動ができる。</li> <li>線路沿いに車が入らないのが魅力的。</li> <li>緑道で散歩がしやすい。</li> </ul> <p>□ 意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園、緑道が線路に近く、危ない。</li> <li>公園と住宅の関連性が薄い。</li> <li>端に住む住民が公園に行きにくそう。</li> <li>車道に隣接している場所が多く、騒音や事故が心配。</li> </ul> | <p>◎ 良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人の流れがつくりやすく、庭の延長のようなかたちで緑地があるのが楽しそう。</li> <li>人と人の交流が生まれそう。緑道にお店を開きたい。</li> <li>住宅前や緑道に車両侵入がなく、住宅から子どもの様子も見られて安心。通学路にもよい。</li> <li>人の目や住宅の明かりがあるので、防犯上も安心。</li> </ul> <p>□ 意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電車からの視線。住宅のプライベートへの配慮。</li> <li>電車の騒音対策として線路側にも緑道を。</li> <li>住民以外が入りにくならない工夫を。</li> <li>新幹線がチラッと見える場所があるとよい。</li> </ul> |
| 共通の意見           | <p>県道高架橋の北側を明け、日当たりを確保する / 観光客や市外からも来たくするような公園 / マルシェや開放感の為に緑道の幅の確保が必要 / 子どもたちがボール遊びできる場所があるといい / スケートボードやバスケット 3 × 3 ができる場所が欲しい / 店舗をやりたい人のエリア分け / 直線の道路は車のスピードを出しやすいのでクランク状の道路に / 駐車場が欲しい（拠点施設には少し広めのものを） / 騒音対策（静かに勉強ができるスペースと騒いで遊べるスペースのメリハリ） / ゴミ箱を設置してキレイな公園に</p>                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 宅地との関係イメージ      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

06 | 公共空間（公園・緑道）での過ごし方や活動（やりたいこと）（市民ワークショップでの意見）

■ 官民が連携・協力し、多くの市民を巻き込んだ活動を活発化させていく仕掛けづくりと人材発掘を兼ねたワークショップのグループ分け

- 「ファン」グループ | 3グループ  
自らが主体となって活動等はできないが、新たに整備される公園で「過ごしたい・イベントに参加したい」
- 「活動」グループ | 2グループ  
自らが主体となってマルシェやワークショップ、ライブイベント等を「企画・開催したい」
- 「運営」グループ | 2グループ  
公園の運営に参画し、「魅力的で持続的な公園にしたい」

※運営を主体的に担う意欲のある人や広場を舞台にした活動意欲のあるプレーヤーが多ければ多いほど魅力的な公園になっていく。



■ 「こんな過ごし方」「こんな活動や企画」「こんな運営」がやりたい。（ワークショップで特に多かった意見）

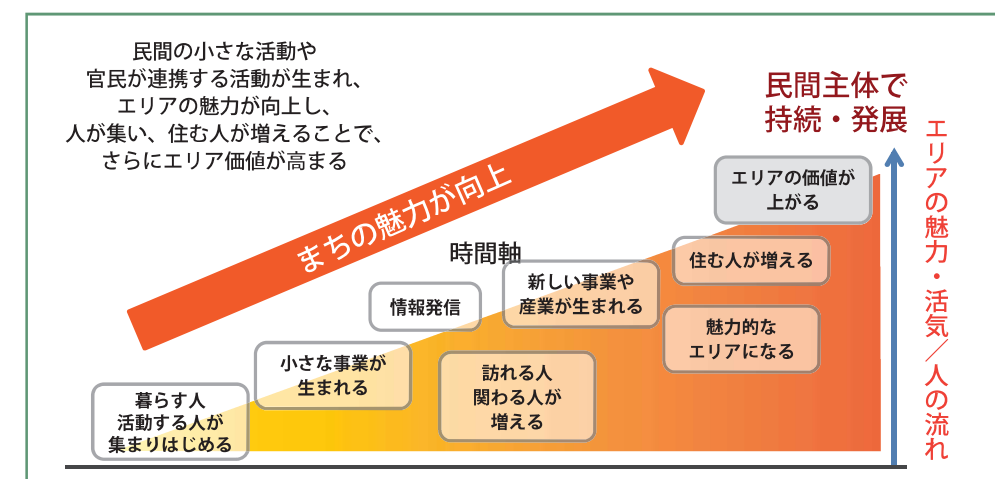
《 日常 》

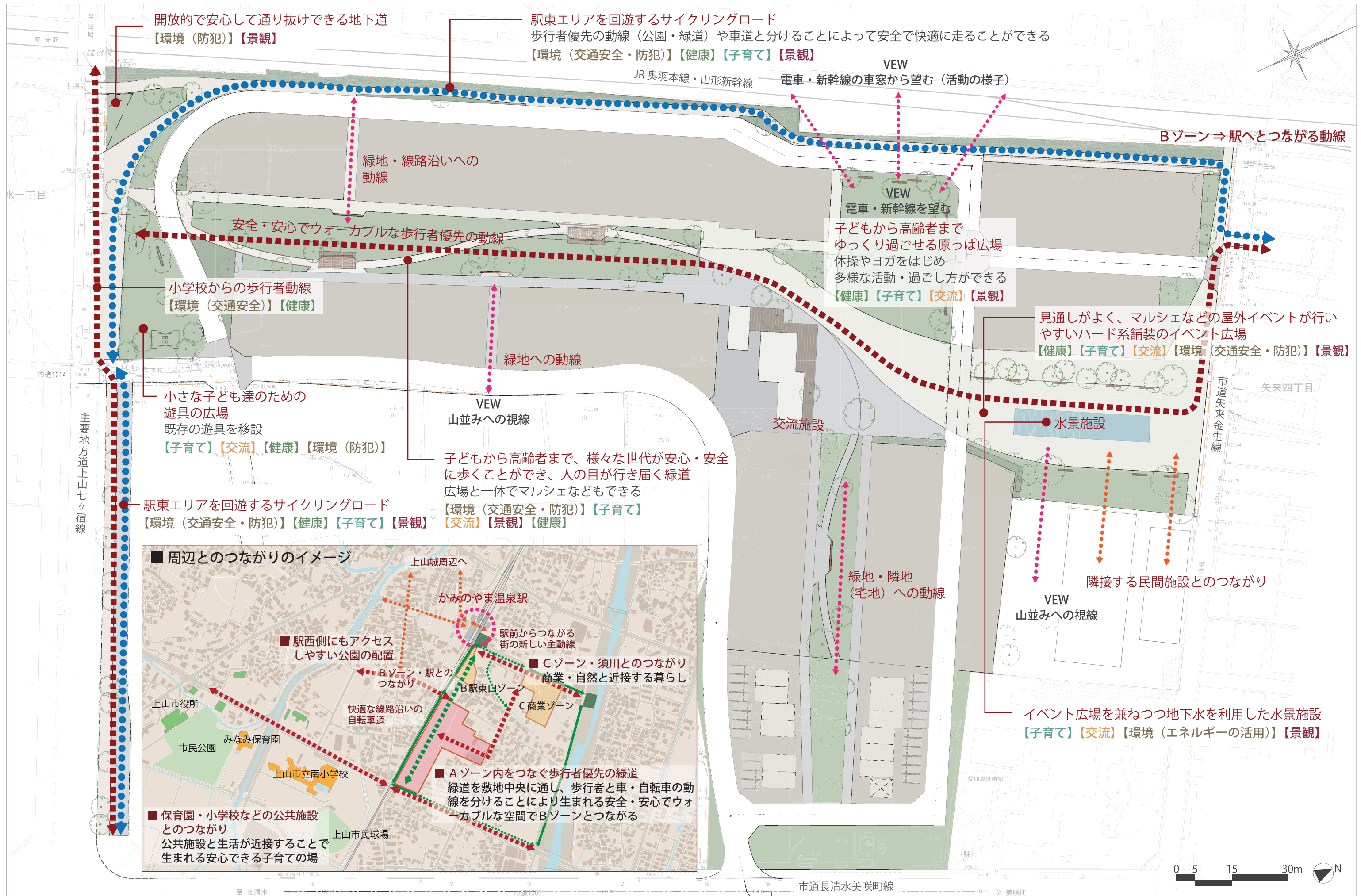


《 イベント 》



07 | 公共空間を核としたまちづくりの展開・波及の考え方





参考イメージ ①  
開放的で安全な地下道入口のための切土



参考イメージ ②  
子どもから高齢者まで安心・安全に歩ける緑道



参考イメージ ③  
安全に、快適に走行できる自転車道



参考イメージ ④  
多様な活動ができる芝生広場



参考イメージ ⑤  
空間を緩やかに文節する並木



参考イメージ ⑭  
園路でひと休みできるベンチ



参考イメージ ⑬  
既存遊具を移設した子どもたちのあそび場



参考イメージ ⑫  
住宅にも配慮した明るすぎず安心な照明



参考イメージ ⑪  
地下水を利用した水ポンプ



参考イメージ ⑩  
交流施設と一体の空間として活動できる広場



参考イメージ ⑨  
並木の間を柔らかく照らすポール照明



参考イメージ ⑧  
夏季は水盤にもなるハード舗装の水景施設



参考イメージ ⑮  
子育て賃貸住宅エリア



参考イメージ ⑥  
奥へと誘導する公園のエントランス広場



参考イメージ ⑦  
ハード舗装でイベント会場にもなる広場





市民球場

南小学校

A 地点

宮ノ脇踏切

至 かみのやま温泉駅

B 地点

■ イメージ | A地点から緑道を見る



■ イメージ | B地点から広場を見る

